

令和6年度 和坂小学校の美しい桜づくり(開花状況)活動報告

2024.4.8

藤原春善

- 1, 活動日時: 2024年4月8日9時30分~12時00分 晴曇り
 - 2, 活動場所: 兵庫県明石市立和坂小学校
 - 3, 活動人員: 桜守スタッフ(樹木医・桜守ボランティア・まち協力サポート隊)
和坂小学校(河合先生・4年生)
 - 4, 活動内容
- ① 桜(ソメイヨシノ)の観察(開花状況)

	<p>北側東よりの主幹を切除したソメイヨシノ2本は開花が僅かであったが、その西側のソメイヨシノは1部梢端枯れがあるが3本ほぼ満開で生徒の努力が報われたと思われる。</p>
	<p>西側中ほどのソメイヨシノ2本は、枯損枝を落とし殺菌剤を塗布し、竹割法等土壌改良をしたが、花付きが悪かった。しかし、着葉はしっかりしているため来年に期待できると考えられる。</p>
	<p>西南側のソメイヨシノは、4本は、枯れ枝処理等日当たりの改善及び竹割法等土壌改良、除草効果があり、開花状況は良好であった。</p>



西北側の八重桜（サトザクラ）は、心材腐朽で空洞化が進んでいて、形成層のみで生育しているが、満開であった。年々生育低下が予想されるため、不定根導入を検討したい。

② NHK 取材協力

開花状況を説明するとともに、生徒による竹割法等土壌改良、樹木の手入れ、除草、枯れ枝処理、堆肥作り等の説明をする。

③ 桜守への感謝状（2024.3.8）確認



④ 今後の桜の健康管理について

A 梢端枝枯れ治療

- ・病虫害枝・重なり枝等簡易剪定を行う。
- ・深さ 20~40cm 層の土壌改良として案内棒で穴をあける又は割竹埋設法を追加する。
- ・侵略的外来種及びヨモギ（害虫の中間宿主、アレロパシーを有す）は除草する。

B 主幹切除木の保育治療

- ・直径 3cm 以上の切除部にトップジン等で殺菌処理する。
- ・胴吹き、ヒコバエはできるだけ残すが、日が当らなく細いものについては切除する。
- ・侵略的外来種及びヨモギ（害虫の中間宿主、アレロパシーを有す）は除草する。

C 心材腐朽した八重桜（サトザクラ）の治療

- ・腐朽部を削り殺菌処理をする。
- ・添え木をして不定根導入を図る。
- ・侵略的外来種及びヨモギ（害虫の中間宿主、アレロパシーを有する）を除草する。